



糖尿病患者会：マイライフファミリーにご入会されませんか？

皆さん、ゴールデンウィークは楽しく過ごされましたか？我が家は近場で映画を見たり、手塚治虫展(耳寄り情報)に行ったり、愛犬と散歩したりで、のんびりと過ごしました。

さて、当院では君津中央病院の糖尿病患者会マイライフファミリーを応援しています。糖尿病の治療には生活習慣の改善がすごく大切なのですが、今までの生活習慣を変えろということとはとても困難なものです。自分一人ではくじけそうになっても、多くの仲間がいれば一緒に乗り越えて行けそうですね。お互いがサポーターとなって、糖尿病を克服していきませんか？

マイライフファミリーでは年に

3~4回の研修会があり、研修会への参加・不参加は会員の自由となっています。県内の日帰り旅行やウォークラリーが計画されています。ご家族やお友達と一緒に参加されている会員も多いです。また、会員になると日本糖尿病協会が発行している「月刊 糖尿病ライフ さかえ」がご自宅に毎月郵送されてきます。この会誌には糖尿病の治療に役立つ最新情報が満載されていて、とても役に立ちますよ。

年会費が4800円(1カ月当たり400円)かかりますが、会費は会誌の代金や郵送費等に使用されています。いつからでも参加できますので、お気軽に当院のスタッフにお問い合わせください。(院長：内田大学)



我が家の愛犬、トイプードルの夏都(なつ)です ♡♡♡

耳寄り情報

2009年4月18日から6月21日まで、両国の江戸東京博物館で特別展「手塚治虫展」が開催されています。手塚治虫の息吹が伝わってくる直筆原稿や人間・手塚治虫を偲ばせる愛用品などが展示され、とても興味深いです。漫画の神様、手塚治虫を知るチャンスです！

よくある甲状腺の病気：橋本病

橋本 策博士



甲状腺はのど仏の少し下にある小さな臓器です。甲状腺ホルモンを作って分泌し、全身の新陳代謝を調節しています。橋本病とは甲状腺に慢性的な炎症を起こす病気です。

橋本病の名前の由来は、明治時代の九州大学の医学者：橋本 策(はしもとはかる)博士(図)が1912年にこの病気を世界で初めて報告したことによります。現代でも世界中で橋本病の名前が使われています。

橋本病は女性には比較的によくある病気です。女性の患者さんは男性に比べて30倍ほど多いことが知られています。橋本病の原因は甲状腺に対する自己免疫です。橋本病の患者さんでは、血液中に抗甲状腺抗体が認められます。抗体とは本来はウイルスなどの外敵に対して作られるべきも

のですが、橋本病では自分の甲状腺に対する抗体が病的にできてしまいます。この抗体が自分の甲状腺を攻撃して慢性甲状腺炎が起り、甲状腺が腫大してきます。この自己抗体を消滅させる治療方法はなく、橋本病は根治させることができません。橋本病があっても甲状腺機能が正常の間は治療は不要です。進行して甲状腺機能低下症になると、易疲労・体重増加・むくみ・寒がりなど全身症状を示します。しかし、この場合でも心配はいりません。現在では合成の甲状腺ホルモン剤を使って、内服によるホルモン補充治療は簡単に行えます。橋本病では定期的な経過観察をして、甲状腺機能の推移を見ることが大切です。(院長：内田大学)

お知らせ

◆この4月から、管理栄養士の江尻さんが職員に加わり、栄養相談が毎日できるようになりました。食事療法に自信のない患者さんは遠慮なくご相談ください。

あなたの骨年齢は？

◆当院では、「骨密度測定装置」にて、骨年齢を調べることができます。お気軽にご相談ください。

